



石田 伸介さんからのメッセージ



1 近況

越前市大虫地区出身の石田です。

私は、防衛大学校から海上自衛隊に入隊し、主に航空機の整備に関する仕事をしてきました。現在は、防衛省がある東京市ヶ谷の防衛装備庁で、装備品のプロジェクト管理（自衛隊が使う装備品がライフサイクルにわたって持てる力を発揮できるようにする。しかもリーズナブルな値段で）を行っており、研究開発や維持整備に関する業務を通じて海上自衛隊が運用する護衛艦、潜水艦、航空機等に愛情を注いでいます。

2 入隊・入校して感じたこと

福井から離れた一心で飛び込んだ自衛隊の世界は、良い意味で期待を裏切ることでした。中でも、入隊当初から変わることなく最も素晴らしいと思っているのが、「自衛隊は本当に人を大事にする」と言うことです。自衛隊ならではの情熱と投資による人づくりは、外連味がなく心から信頼できる多くの仲間を私に与え続けてくれています。

また、決して大金持ちにはなれませんが（笑）、安定した収入という基盤を持って、色々な経験や新たなチャレンジが出来るのも自衛隊勤務の良い所です。

3 母校の後輩たちへ

県内でも、とりわけ内気な武生界隈から飛び出すのはすごく勇気がいる事ですが、そこには福井には生涯見ることのない景色が広がっています（ドキドキの防大入学前日、横須賀の街の外国人の多さに驚き、「福井で一生涯かけて見られない数の外国人をたった1日で見ただけ」と思ったことは未だに忘れられません。）中でも、ありとあらゆる種類の仕事がある自衛隊には、必ず皆さんにふさわしく、やりがいと誇りをもって取り組めるものがあるはず。後輩のみなさんと一緒に防衛相/自衛隊、できれば海上自衛隊で働ける日が来ることを楽しみにしています！ちなみに、高校時には嫌で仕方なかった福井ですが、年を重ねるごとに望郷の想いが増し、最近では可能な限り帰省、恩師・旧友を温めています。



プロフィール

出身校：武生高等学校

入隊区分：防衛大学校

入隊年度：昭和63年度



内山 克彦さんからのメッセージ



1 近況

私は艦艇装備を専門としており、これまで主に艦艇装備品の修理、検査、開発等に係る仕事に携わってきましたが、ここ最近は部隊運営に関わる業務、訓練の計画・調整など、幅広く仕事を行っています。全国各地いろいろな所で勤務してきましたが、現在は自然の多い青森県に住んでおり、週末は趣味のアウトドアを楽しみ、公私ともに充実した日々を送っています。

2 入隊・入校して感じたこと

入隊してからこれまでの勤務を通じて、概ね自分の特技や特性を生かした仕事ができていると感じています。これは、職種や配置について、選択肢が多いことに加え、個人の希望や特性をしっかりと考慮したうえで指定してもらえているおかげだと思えます。ワークライフバランス制度が充実しており、安心して仕事に取り組める環境があることも嬉しく思っています。

3 母校の後輩たちへ

正直なところ、高校の頃は自衛隊のことはよく知らず、就職することになるとは全く思っていませんでした。大学で就職活動をしているときに知ることになり、調べていくうちに興味を持ち、縁があって就職することができました。自衛隊には多種多様な職種があり、いろんな分野で活躍できる場がありますので、就職先の候補の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。



プロフィール

出身校 : 高志高等学校
早稲田大学
神戸大学大学院

入隊区分 : 一般幹部候補生 (海)

入隊年度 : 平成16年度



橋本 真史さんからのメッセージ



1 近況

私は、海上自衛隊舞鶴音楽隊でサックス奏者をしており、主に西は鳥取から富山まで、各地で演奏をしています。

このところは、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症や、全国で生起している災害などに即応できるように、態勢維持を行っています。

職場環境が常に変化する中において自分が組織の中で何ができるかを日々考え、行動しながら充実した毎日を送っています。

2 入隊・入校して感じたこと

様々な仕事内容がある自衛隊の中で、個人では達成できない目標を、上司、同僚、部下と連携する事で、達成できる充実感を味わうことができます。

国民に信頼される組織の一員として活躍するため、自分自身を磨き、成長することができました。

3 母校の後輩たちへ

現在、進路先で悩んでる後輩がいれば、ぜひ自衛隊という組織に飛び込んでみてはどうでしょうか？国民のためにあなたができる事は必ずここにあります。大きな仕事に立ち向かって一緒に達成感を味わいましょう。



プロフィール

出身校 : 敦賀気比高等学校

入隊区分 : 2等海士

入隊年度 : 平成7年度



林 達也さんからのメッセージ



1 近況

海上自衛隊に入隊して約1年6か月の教育を受けた後に、長崎県や鹿児島県、そして、徳島県にある基地のヘリコプターを整備する部隊で勤務してきました。ヘリコプターが目の前で離発着し、格納庫で整備されているところを見るとやりがいを感じました。

入隊してから約9年が経過した今は、千葉県にある海上自衛隊の学校で航空機の整備や開発について勉強しています。

2 入隊・入校して感じたこと

海上自衛隊は海を主な職場としています。海上自衛隊に入隊して一番良かったことは、世界中のいろいろな国を訪問して文化を学べたことです。私も幹部候補生学校卒業後の遠洋練習航海で世界一周しました。航海中は厳しい訓練もありました。約15か国に寄港してその国の文化や習慣を学ぶことができました。フランスの凱旋門やスペインのサグラダ・ファミリアを見学できたことが、遠洋練習航海での一番の思い出です。

3 母校の後輩たちへ

海上自衛隊に入隊して、私は大きく成長したと実感しています。みなさんがもし入隊されれば、初めのうちは聞きなれない言葉や時間に追われる生活で戸惑いを感じるかもしれません。また、自分では解決できない問題や壁にぶつかり不安になるかも知れません。しかし、一人で悩む必要はありません。あなたの周りには仲間がいます。仲間と共に問題や壁を解決することで、それらを乗り越える事ができます。人間的に自立し、一回りも二回りも成長できます。

いつか同じ職場で仕事ができる事を楽しみにしています。



プロフィール

出身校 : 羽水高等学校
東海大学

入隊区分 : 技術貸費学生 (海)

入隊年度 : 平成24年度



三好 凌さんからのメッセージ



1 近況

他隊員との共同生活をしていく中で、仲間と支え合い、協力し、励まし合いながら勤務しています。厳しい訓練や任務においても、仲間と助け合い、様々な試練を乗り越えています。

2 入隊・入校して感じたこと

日々の生活において時間を有効に使うことの大切さを学び、それを実践することで充実した生活を送れていることです。限られた時間の中で効率的かつ迅速な作業の実施に努め、作業にかかる時間を短縮し、余暇は趣味等の自分の好きなことに活用し、充実した毎日を過ごしています。

3 母校の後輩たちへ

入隊した当初は、慣れない事や不安な部分が多いと思いますが、毎日全力で訓練や任務に取り組むことによって、自ずと不安も解消されてきます。

日々充実した生活を送りたいという方は、将来の進路として自衛官という道をお勧めします。



プロフィール

出身校 : 敦賀気比高等学校

入隊区分 : 一般曹候補生 (海)

入隊年度 : 平成31年度



若泉 成華さんからのメッセージ



1 近況

私は艦艇に乗り組み、射撃員という大砲の射撃に係る仕事をしています。艦艇に乗っての生活は、普通の生活とは全く違いますので、慣れるまでに時間がかかりましたが、同期や先輩方に恵まれて、楽しく仕事ができています。

2 入隊・入校して感じたこと

入隊当初は、団体生活に慣れるまでは大変でした。何をやるにしても全員で行動したりするので、自分の失敗が周りに迷惑をかけてしまうこともありました。そういった時に、一緒に生活してきた同期に助けられ、仲間の大切さをより実感しました。

3 母校の後輩たちへ

慣れない生活で辛くて投げ出したい事もたくさんありました。それを乗り越えられたのは、仲間のお陰だと思います。自分自身、人を思いうるようになり、成長できます。

一人でも多くの後輩が、自衛官として活躍してくれることを願っています。



プロフィール

出身校 : 啓新高等学校

入隊区分 : 自衛官候補生 (海)

入隊年度 : 令和元年度